

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)	◎	衣料品専門店 (統括)	販売量の動き	・当店は祭礼用品を主に扱っている。この4～5年は新型コロナウイルス感染症の影響や、当地ではその前に台風の被害があったので、5年間祭りが中止となっていた。今年は久しぶりに解禁になって各地で祭りが行われた。5年の間に、祭り用品がなくなったり、使えなくなってしまったという客が大変多く、販売量が増えている。
	◎	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・物価高の影響はあるものの、販売量がかなり増えている。旅行代金の高騰分を販売価格に転嫁できれば更に良い。
	○	百貨店（店長）	来客数の動き	・8月以降、微増ではあるものの、来客数の増加傾向が続いている。今後も、この微増傾向が継続し、徐々に良くなっていく。
	○	百貨店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前の2018年度との比較では、売上は約5%マイナスである。ただし、前年比では3か月連続で100%超となっており、着実に景気は回復傾向にある。
	○	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・繁忙期に向け、仕事の依頼が多くなっている。
	○	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・順調に推移している教育旅行団体に加えて、組織や団体のニーズも出てきている。日帰り旅行客がまだまだ多いが、インバウンドの来訪も徐々に増えている。
	○	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・コロナ禍の行動制限も無くなり、自由に行動できることから消費行動は上向きになるのではないかと。
	○	タクシー（経営者）	お客様の様子	・全体的に動きが良くなり、前年同月比14%の増収である。
	○	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・夏の猛暑の影響や他のレジャーに流れていた来場者が、少し戻っている。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・税金の2重取りと問題視されているガソリン暫定税率を下げることで、消費者に広くメリットがあるという提言が石油連盟から出ている。この問題が議論されてこなかったのはなぜか。電気自動車に乗り換えたので、もはや関心は希薄である。
	○	設計事務所（所長）	お客様の様子	・一時期停滞していた行動範囲が広がっているようで、各地に人出の多さがあり、景気は上向いている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・幼稚園と小中学校の運動会が開催され、若年層の動きは活発になっている。ただし、猛暑日が続く、高齢者の来店は少ない。地元のイベントでも、高齢者の姿はみられない。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月も真夏日の連続で、客は外出を控えている。新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきて、各地でイベントなどが復活している。ただし、人出はイベントのときだけで、平日は静かである。商材価格の値上がりりが1番響いているのかもしれない。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・今までは良かったが9月になってから悪くなりつつある。
	□	一般小売店〔青果〕（店長）	単価の動き	・野菜の価格は、今まで経験したことのない大幅な高騰となっている。北海道や東北地方で30度、35度以上の気温が続いたため、北海道、東北産の野菜が非常に高くなっている。
	□	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・引き続き来客数は増加傾向にあるものの、売上は連動していない。地方都市では都心店のようなインバウンド需要は皆無に等しく、特に大きな景況の変化はない。
	□	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・LRT開業により客の流れが変わってきているものの、購買は変わらず、売上は横ばいで、景気が良くなっているとは思えない。
□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年比で、売上は99.8%、来客数と客単価は100%で、ほぼ前年並みで推移している。8月の売上は前年比104%だったので、9月の方が伸びなかった感がある。	
□	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・9月は夏日の暑い日が多かったため、秋物が動いていない。	

□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新車や中古車等の販売が少しは改善されたと感じている。同様に、車検等の整備売上も微増である。
□	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・当社は観光地を控えている立地なので、ドライブイン、旅館、ホテル関係の従業員の方が来て、2～3か月前と同じくらいに景気は良くなっているが、人手不足で参っているという話がよく出ている。景気はこのところずっと良い状態で横ばいである。
□	一般レストラン [居酒屋] (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの流行の影響もあるのか、一旦上向いた市況が小康状態である。しばらくは様子見である。
□	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来客数は日によってばらつきがあるものの、全体でみると変わらない。
□	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・全国旅行支援終了後も、当県独自の支援策に後押しされる形で予約は好調に推移している。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・9月19日から初乗り運賃が値上げになった。今までは、2キロまで740円だったが、今後は、1.1キロで500円である。基本は2割ほど上がったが、近距離が安くなっているため1割程度の値上げではないか。現状では、乗り控えないが、夜～深夜にかけての利用客は少ない。ビジネスマンは、レンタカーを利用する人が多くなった気がする。
□	通信会社(社員)	単価の動き	・ガソリン代、光熱費等の政府の補助金がある間は、景気への感度は現在と変わらない。
□	通信会社(営業担当)	単価の動き	・店舗来客数は増加しているものの物価高が続いているため、消費は抑えめとなっている。ただし、コロナ禍の頃よりは回復傾向である。
□	通信会社(総務担当)	販売量の動き	・人気機種の新モデル発売により、瞬間的に休日の販売量が前週比3割増加したものの、全体では3か月前と同程度である。
□	通信会社(局長)	お客様の様子	・営業先でも、基本的に客からは変わらずに苦しいという話を聞くことが多い。
□	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・夏から秋にかけての旅行シーズンにもかかわらず、真夏日やゲリラ豪雨等の天候の影響を受けて、来園者数が伸びてこない。
□	競輪場(職員)	単価の動き	・来場者の車券の購買単価は横ばい若しくは減少しており、物価高騰等もあるため、引き続き注視していく必要がある。
□	住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・地価は相変わらず横ばいで、動きも鈍い。状況打開の要因が見つからない。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・最近是不動産の引き合いが余りない。ただし、店舗関係はちらほら増えてきたかなという感じである。土地、中古住宅、空き家等については、現在、客の引き合いがほとんどない。
□	その他住宅[住宅管理・リフォーム] (営業)	販売量の動き	・3か月前と余り変化はなく、問合せも入っており、受注できている。
▲	一般小売店[土産] (経営者)	販売量の動き	・夏休みも終わり、客足は少し落ち着いているが、修学旅行生や外国人旅行客は、新型コロナウイルス感染症発生前と比べても上向きの状況が続いている。しかし、受入れ側の人手不足が深刻で、売上の機会損失があるため、新型コロナウイルス感染症発生前の売上達成度を比べると、2～3か月前より悪くなっている。
▲	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・原油価格高騰等に代表される長引く物価高の影響による生活防衛意識の高まりや、天候面では残暑厳しい期間が長いことなど、商売上の環境が悪く、厳しい状況が続いている。
▲	スーパー(商品部担当)	来客数の動き	・商圈内に競合店がオープンし、来客数の前年割れが続いている。また、物価高の傾向が客単価にも影響している。
▲	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・9月の後半になり、多少気温が下がってきたので、当店の顧客は高齢者が多いということもあり、若干人の動きが出てきている。ただし、購買意欲につながるような雰囲気ではない。何となく街に出てきて、世間話をして自分のストレスを解消しようという雰囲気客がほとんどで、なかなか消費までには回らない。

	▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・受注から登録に至る台数が減少している。
	▲	自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・来客数の動きや道路の交通量がやや少ない。車を買うという話への展開が重く、なかなか購入に転じていかない。ややムードが悪い。
	▲	住関連専門店 (店長)	来客数の動き	・値上げのトレンドが継続している。
	▲	住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・9月に入ってからの高温は、これまでの来客数の減少に拍車を掛けている。連休も例年と比べて休みが続かず、マイナス要因が重なって厳しい9月となっている。
	▲	一般レストラン (経営者)	単価の動き	・客単価が下がっている。この状態が行楽シーズンも続く と厳しい。
	▲	その他飲食〔給 食・レストラ ン〕(総務)	単価の動き	・主力の事業所給食部門では、食材費、人件費、水道光熱 費等、コスト全般で上昇が続いており、取引先と継続して 条件見直し交渉をしている。しかし、2～3度目となる条 件見直しに慎重となる取引先も多く、その間に収支悪化が かさむ状態が続いている。
	▲	ゴルフ練習場 (経営者)	単価の動き	・食料品を始め、生活必需品の単価が上がっている。
	▲	その他サービス 〔自動車整備 業〕(経営者)	それ以外	・同業者の人手不足問題と原材料価格高騰の嘆きは、当社 でも他人事ではなくなっている。ひとまず業務を縮小し、 人材募集要件の整備を実施したため、売上と利益の下降は 避けられない。求人への応募は余り期待できない。
	×	一般小売店〔家 電〕(経営者)	来客数の動き	・物価高による買い控えが頻発している。
	×	家電量販店(店 員)	販売量の動き	・猛暑が続き、季節商材に期待があり、前年比130%とな ったが、ボリュームに欠けた感がある。その他では、冷蔵庫 が75%、洗濯機80%、テレビが60%と、主要品目がことご とく前年割れしている。全体では前月からの推移は90%と 振るわず、前年比でも90%と割り込んでいる。
	×	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・いまだに新型コロナウイルス感染症発生前の売上に届か ない。
	×	その他専門店 〔靴小売業〕 (経営者)	お客様の様子	・天候不順で客の買物への意欲が減退しているようで、特 に、メインターゲットである高齢者は顕著である。また、 1万円台の商材で軒並み2万円台への値上がりが続いてい る。販売側もだが、客も購入にちゅうちょしがちである。
	×	通信会社(経営 者)	お客様の様子	・買い控えが顕著になっている。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	輸送用機械器具 製造業(総務担 当)	取引先の様子	・取引先の生産が新型コロナウイルス感染症発生前の水準 に戻りつつあるので、それに伴って今後は受注が増 える傾向にある。
	○	不動産業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・海外からの雇用が増え、ワンルームタイプの管理物件は 常に入居状態のため、やや良くなっている。
	○	広告代理店(営 業担当)	取引先の様子	・取引先のホテルでは、3年ぶりにディナーショーが開催 されることになっている。公務員の宴会需要も増えている ようで、飲食関係を含めて、客の動きは良くなっている。
	○	司法書士	受注量や販売量 の動き	・相続関係の法律改正があったためか、ほんの僅かである が、良くなっている。
	□	窯業・土石製品 製造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・原材料の値上げなども落ち着き、粛々と稼働している。
	□	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・受注量が少ないことには変わりはない。
	□	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・当社でメインに扱っている換気扇の受注量は、以前なら 9月から12月までは大変忙しかったが、前年、今年とぱっ としない。売上も3年前から比べれば、3分の2くらいに 落ちてしまっていて、少し厳しい状況である。
	□	輸送用機械器具 製造業(経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・取引先の様子や受注価格等の動きは、余り変わらない。

	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・季節の変わり目で、冬物家電、こたつ、電気カーペットや、ウォーキングシューズ、園芸用草刈り機、ハサミ等、前年並みの予想物量を確保している。ただし、燃料価格の高騰やドライバー不足もあり、依頼費用が高いために利益は薄くなっている。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・企業の生産や販売は、業種により好不調が混在しており、業績はまちまちである。全国の経済活動が調整過程にある。企業活動は、引き続き受注が増えた一部企業で設備投資が活発なところがある一方、販売が一段落したところもある。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・受注件数に大きな変化はないものの、価格転嫁しきれていない事業所では利益率が落ちている。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	取引先の様子	・引き合いや商談、受注件数共に増加傾向にあるが、伸び率が鈍化している。取引先の一部業界では、コスト増加で情報化投資を抑える傾向がみられる。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・7月頃、急に内示情報に対する大幅な減産情報が入り、現在も減産対応を続けている。また、価格交渉月間である9月に、取引先数社から以前と同様の定期的なコストダウン要請が届いており、対応に苦慮している。
	▲	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・前月末でビルのテナントが退去し空室となったが、他の空室に入居がなかったため、家賃と保守管理の収入が減少している。また、暑さが長引いたために、空調の電気代も余計に掛かり、経費が増加している。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月から8月までの今期売上が、過去10年間で最低という衝撃の事実が判明した。先行きの見通しもはっきりとしない状況である。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占めているが、今期の公共工事発注は前年比6.4%増加ではあるものの、前々年比14.8%減少であり、全体的には厳しい数字である。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・求人数が前年比1.4倍となっており、企業業績が順調に推移していることがうかがえる。
	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・空き家が増えているようで、解体や改築等の工事関係の需要がみられる。ただし、ガソリン価格や諸材料の価格上昇で、動きには活発さがみられない。依然として、ガソリン価格は波があり、今はピーク時よりも10円ほど下がったが、なかなか厳しいところである。全体的にはまだ厳しい。
	□	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求人数に対して、条件に合う求職者数が不足している。
	□	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・派遣求人数がサービス業は増加しているものの、製造業は減少しているため、増加しない。平均すると状況は変わらない。
	□	人材派遣会社（従業員）	周辺企業の様子	・人材の依頼がない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比での増加傾向が続いていたが、今月は減少に転じている。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—